

14. 子育て世代や地域の学生を含む、若い人たちが住みやすい地域をつくる  
～空き家の活用について～

東海大学甲府高校

待機児童や子供たちの遊び場が少ないことに加え、山梨県には空き地や空き家が多くあると思います。そこで、空き家をリフォームして一時的な託児施設として利用を促進することはできないかと考えます。しかしながら、保育士が少ないという問題もあるため、保育士志望の学生の経験のためにも託児施設でボランティアをできれば良いと考えます。また、空き地を整備して公園にすることで子供だけでなく地域の人々の憩いの場とすることが出来るのではないのでしょうか。Z世代と呼ばれる今の中高生は、SNSやゲームなどをして外で体を動かし遊ぶことが減少しています。身近に多くの公園があれば外で運動することで健康的な生活を送ることができ、地域の人々との交流にもつながると考えます。



15. 自転車道の整備について  
甲府東高校

私たち高校生にとって自転車は通学などの移動に欠かせない交通手段になっています。しかし、現在、高校生による自転車の事故が多発しています。その原因として、自転車利用者の不注意がおもに挙げられますが、山梨県ではとくに自転車道が整備されていないことも大きな要因だと考えます。例えば、自転車専用の道路がない場所や狭い場所が多く、歩道を走行することや車との接触による事故の危険性が高まっています。そこで、私は自転車道の整備について提言します。安全な移動手段を確保することが交通事故の減少だけでなく、自転車利用者が増加することで健康促進や環境負荷の軽減にも繋がります。自転車道の整備を行うにあたって大きな財源が必要になると思いますが、高校生だけでなく多くの人々が安全な移動手段を確保するためには必要な財政支出だと思います。



16. 美しい清流を守るために取り組むべきこと  
白根高校

私は今、水質汚濁が問題だと考えています。きれいな水は私たちの生活や命にとってか欠かさないものです。飲み水としてはもちろん、農業や工業、自然の生態系にも大きな影響を与えるものです。だからこそ、美しい清流を守るために、今できることから少しずつでも取り組んでいく必要があると思います。その解決策の一つとして、清掃活動のボランティアに真摯に取り組んでいくことが大切だと思うようになりました。清掃活動を経て、得るものは単に「きれいになった」という結果だけではありません。私たちの出すゴミがいつのまにか自然環境を悪い方向に進めてしまっているという現実を実際に現場で見て感じることで、環境に対する意識が大きく変わっていくと実感しました。また、同じ思いを持った人たちと協力しながら活動することで、地域の繋がりも深まると思っています。今後も私はこうした清掃活動を通し山梨県の優美な環境維持に少しでも貢献できるよう自分なりに見つけ、努めていきたいと思っています。

